

平成28年10月24日

平成28年度病害虫発生予察注意報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：ウラナミシジミ
2. 対象作物：サヤエンドウ、実エンドウ
3. 対象地域：日高地域
4. 発生量：多
5. 発生期間：～11月
6. 注意報発表の根拠
  - 1) 10月中旬の日高地域（印南町）の露地栽培エンドウ類での発生状況は以下のとおりである。
    - ①被害発生ほ場率は83%（平年46%）、被害株率は45.0%（平年14.2%）と平年に比べ高い。
    - ②被害さや率は15.2%であり、多発した平成25年（13.2%）と同程度である。
    - ③1花あたりの卵数は0.33個であり、過去3年の平均（0.14個）と比べて多い。
  - 2) 大阪管区気象台の発表によると、向こう1か月（10月22日～11月21日）の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%である。このことから例年に比べ被害が長期化するおそれがある。
7. 防除上の注意事項
  - 1) 食入加害されたさやは、ほ場の外に持ち出し適切に処分する。
  - 2) 防除効果が高い若齢幼虫を対象に7～10日間隔で防除を行う。
  - 3) トレボン乳剤、アディオン乳剤、パダンSG水溶剤はウラナミシジミの1齢幼虫に対するさやへの食入阻止効果が高い。
  - 4) 防除資料として、農業試験場ニュース125号（<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/gaiyou/001/noushi125.htm>）を参照する。
  - 5) 農薬については、（独）農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システム（[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)）で最新の登録情報を参照し、適正に使用する。

担当：農作物病害虫防除所 岡本、井口 電話：0736-64-2300
--